

The Future of Conrad Studies

We are reading Conrad differently. The presentation will reflect on the contemporary moment in literary criticism side by side with political, cultural and discursive shifts in Conrad studies. It will start with an overview of the new critical lenses of planetary studies, post-critique and new modernisms and the way they reframe and transform our interpretation of the canonical works. The talk will touch on some of the pressure points in academia today and consider the ways in which we might protect Conrad's place in the literary canon.

「これからのコンラッド研究」

私たちは今コンラッドの作品を、以前とは異なった読み方をするようになってきました。この講演では文学批評の現状を、コンラッド研究に見られる政治的、文化的、論証的アプローチの変化とも関連付けて考えてみます。まず初めに新しい批評レンズとしての planetary studies¹、post-critique²、新モダニズム³などの研究方法を、それらが今、文学的キャノンとみなされている作品の解釈をどう作り直し、どう変えて行こうとしているのかをも含めて概観します。この講演は、今日の学術研究の世界における弱点にも触れ、その中で私たちが、従来の文学的キャノンという価値観の中でコンラッドが享受して来た権威を、今後どう守って行けるのかを考えてみたいと思います。(拙訳：奥田)

¹ 環境保護を意識し、惑星としての地球の抱える問題に注目した文学研究。

² 従来の批評理論などに基づかない斬新な文学作品の解釈を志向する批評。

³ モダニズムに対する最近の価値観の変化や影響力についての考え方の変化、研究対象の広がりやを反映した新しいモダニズム研究。